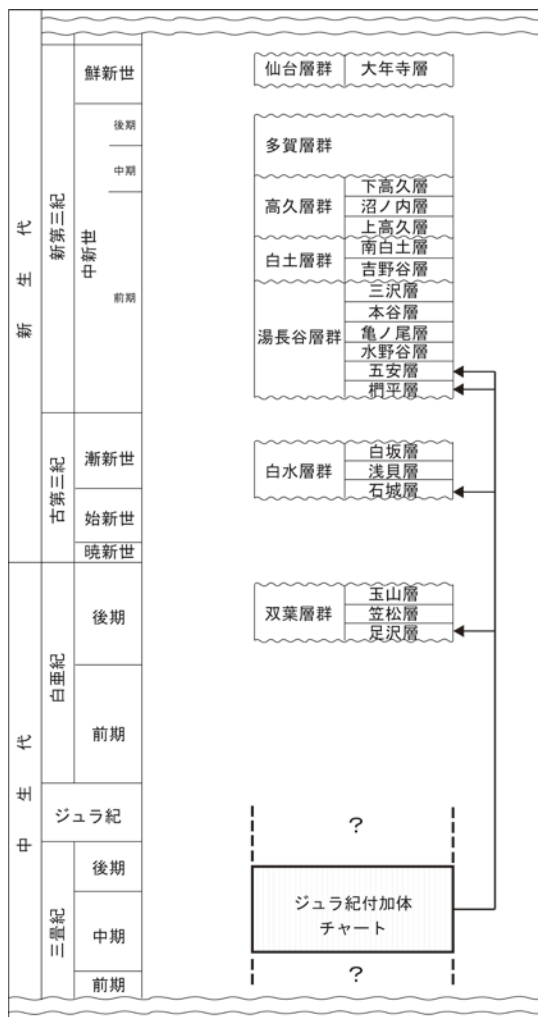


## 今月のイチオシ化石紹介

- (a, b) *Pseudostylosphaera* sp.
- (c) *Eptingium* sp.
- (d) *Pseudostylosphaera* cf. *tenuis*

アンモナイトセンター内の体験発掘に使用している露頭にはアンモナイトや二枚貝といった大型の化石に混じって様々な種類の礫が産出する。その中にはチャートの礫も含まれており、このチャート礫からは放散虫化石が産出する (歌川, 2020)。上掲の放散虫化石はそれらのうちチャートの形成年代を示唆する化石であり、Sugiyama (1997)によればこれらが揃って産出する年代は中期三畳紀～後期三畳紀初頭である。

三畳紀チャート礫は、2019年度の夏休み企画展「いわきの微化石～幻の地層を求めて」においても古第三系白水層群石城層の礫岩から産出したもの (歌川ほか, 2019)を展示したが、大上ほか (1978)によれば新第三系中新統湯長谷層群からも産出する。図1に示す通り、これらの礫は現在常磐地域に分布しないジュラ紀付加体に由来すると推定される (但し変成したものは御斎所変成岩として分布している)。



日本列島は地質学的に西南日本と東北日本に分けられ、常磐地域は東北日本に属する。日本海が形成される以前の古地理の詳細は未だ分かっていないが、双葉層群が堆積した後期白亜紀から前期中新世までの期間には常磐地域の背後にチャート礫を供給するジュラ紀付加体が露出していた。前期中新世以降の堆積岩からチャート礫が産出するの否か、産出するとしてチャートの示す年代はいつか、等といった事が分かれば日本海形成期の日本列島の古地理研究に大きく寄与することになるであろう。

双葉層群は、東北日本太平洋側に前期白亜紀から古第三紀にかけて堆積した一連の前弧海盆堆積物の一部であるが (安藤, 2005)、最近西日本に分布する上部白亜系和泉層群と双葉層群玉山層が同じ堆積盆内で堆積したという研究が発表された (長谷川ほか, 2020)。これが事実であれば九州から北海道、更にはサハリンに至るまでの長大な範囲に亘って白亜紀の前弧海盆堆積物が分布しており、その結節点である双葉層群の地質学的重要性は増々高まる事になる。

図1. チャート礫産出層準と供給源 (歌川, 2020 より引用).

(参考文献)

安藤寿男, 2005. 東北日本の白亜系 - 古第三系蝦夷前弧堆積盆の地質学的位置づけと層序対比. 石油技術協会誌, 70 (1): 24-36.

長谷川遼・磯崎行雄・堤之恭, 2020. 破片化した過去の前弧堆積盆地—関東・南東北に散在する和泉層群東方延長の白亜系・古第三系砂岩—. 地学雑誌, 129 (1): 19-70.

大上和良・遠藤真哉・村田正文, 1978. 常磐炭田第三系礫岩中のチャート礫よりトリアス系コノドント化石の発見 (阿武隈高原東縁地域の礫岩の研究, その2). 地質学雑誌, 84 (2): 87-90.

Sugiyama, K., 1997. Triassic and Lower Jurassic radiolarian biostratigraphy in the siliceous claystone and bedded cherts Units of the southeastern Mino Terrane, Central Japan. Bulletin of the Mizunami Fossil Museum, 24: 79-193.

歌川史哲・上松佐知子・指田勝男, 2019. 福島県いわき市の古第三系石城層礫岩より産出した三疊紀微化石群集について. 日本古生物学会第 168 回例会, C01.

歌川史哲, 2020. 福島県いわき市の双葉層群足沢層のチャート礫より産出した三疊紀放射虫化石について. いわき市教育文化事業団研究紀要, 17: 7-14.

## 6月の行事報告

5月30日より体験発掘を再開いたしました。

- ・体験発掘
  - ・特別体験発掘
- 開催回数：12回      開催回数：0回

## 7月の行事予定

- ・体験発掘 (毎週土曜日・日曜日及び7月24日：10時～11時30分, 13時30分～15時 但し、雨天中止)

**当面の間**、一回の参加人数を**最大50人**とさせていただきます。

体験発掘参加時は軍手及び化石を入れる袋をご持参ください。

- ・夏休み企画展「双葉層群のサメ～海の支配者たち」

7月16日(木)～9月1日(火)

- ・第2回親子自然探訪教室「昆虫採集に出かけよう！」



7月23日10時～13時

(申し込みは7月22日17時締切)

## お知らせ

第3回以降の親子自然探訪教室につきまして、イベントカレンダー記載の情報から大幅な変更がございます。都度HPにてご確認くださるようお願い致します。

写真1. 2018年に実施した「昆虫採集に出かけよう！」の様子。

第3回：不思議なキノコを探しにいこう！	9月22日(火・秋分の日)	10:00～13:00
第4回：秋の星座を見つけよう！	9月22日(火・秋分の日)	17:15～20:15
第5回：陶芸に挑戦しよう！	11月3日(火・文化の日)	10:00～13:00
第6回：コハクを発掘しにいこう！	11月23日(月・勤労感謝の日)	10:00～13:00
第7回：冬の野鳥を見にいこう！	1月11日(月・成人の日)	10:00～13:00

特に第6回「コハクを発掘しにいこう！」につきましては、毎年参加希望者多数のため抽選を実施しております。開催予定日が繰り上がっておりますのでご注意ください。

### お知らせ(重要！)

Notice!!

Notice!!

例年暖かくなりますと、軽装で発掘体験に来られる方が多くなります。HPや館内表示でもご案内しておりますが、体験発掘に参加される際は運動靴または長靴の着用をお願い致します。サンダル(クロックス含む)や踵の高い靴での体験発掘場への入場は安全確保のため、お断りしております。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

### 体験発掘に関するお知らせ(重要！)

Notice!!

Notice!!

今年度は全国的に夏休みの期間が短くなり、来館する方が集中することが予想されるため、8月の体験発掘は事前予約による入替制とさせていただきます。予約受付は電話のみ、開館している平日の9時～17時に下記電話番号までご連絡ください。お電話いただいた週の週末に開催する体験発掘の予約となります。

TEL : 080-6043-4436

8月の体験発掘開催日：1日・2日(受付日7/28～7/31)、8日・9日・10日(受付日8/4～8/7)、15日・16日(受付日8/12～8/14)、22日・23日(受付日8/18～8/21)、29日・30日(受付日8/25～8/28)

実施時間：10:00～11:30、11:15～12:45、13:30～15:00、14:45～16:15

一回の参加人数の上限は7月までと同様、最大50人です。

### ボランティア募集

アンモナイトセンターでは、センターの活動を支援して下さるボランティアの方を募集しています。詳しくは、お電話・E-Mail、または職員にお声がけください。



いわき市アンモナイトセンター

(Iwaki City Ammonite Center)

〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : [info@ammonite-center.jp](mailto:info@ammonite-center.jp)